

令和7年度 学校評価のまとめ

～保護者・生徒用自由記述に寄せられた主な記載事項に対しての来年度の取り組み等～

1 学習指導について

- ワーク等の購入の件について御意見をいただきました。Eライブラリやミライシート等のA Iドリルの活用については、ワーク等の保護者負担軽減の一助になるものですが、ワークやドリル等の副教材の必要性や活用の仕方について各教科で確認しながら、効果的な活用方法を考えていきます。
- ワーク等の扱い方について御意見をいただきました。各教科で必要な場面等を明確にしていくと共に、テスト前の回収は、お子様の学習に支障をきたさない様に配慮していきます。
- 校内研修や自主研修を通して、授業作りのスキルを高めると共に、御意見を参考に、生徒が意欲的に学習に取り組み、互いに高め合える授業環境作り、学習への躓きのある生徒へのさらなる支援に力を入れ、一人一人の学力向上に努めていきます。
- 授業での効果的なタブレットやI C T機器の活用については、調べ学習、授業内での情報の共有化、学級等の連絡手段など様々な場面で効果的に活用をしていますが、更に研究を進めてまいります。
- S R（校内教育支援センター）の授業について御意見をいただきました。長欠・不登校支援において、S Rは欠かせないものであると考えています。限られた職員数・時間の中で、御意見を参考に日課表の作成について可能な限り見直しを図ってまいります。

2 学校行事について

- 学校行事や体験活動については、教育課程の状況を踏まえ、生徒の非認知能力を伸ばす取り組みとして、充実したものになるように検討していきます。また、御意見を参考に来年度、目的、内容、改善点など合わせて検討しながら実施していきます。

3 生活面について

- 生徒への指導の仕方について御意見をいただきました。生徒指導については、どの生徒にも寄り添って、生徒の声に耳を傾け、対応をしていくよう職員研修などを通じて再確認していきます。
- 長欠・不登校生徒の評価について御意見をいただきました。学習評価は各教科の習熟度合いを評価したことになります。そのため、可能な限り授業を受ける機会（オンライン授業など）を設ける共に、提示した課題やテストなどを実施し、評価をしています。表記の件については配慮します。
- 学級における教員の指導について御意見をいただきました。教科担任制を活用して

様々な視点で個々の生徒に目を向け、生徒個人の自己肯定感、自己有用感を高め、学級から学年そして学校全体における自治力が高められるように努力していきます。

- 教科や行事等の連絡について御意見をいただきました。連絡黒板の利用、紙面、Teamsでの提示（配布、配信を含む）などを行うことで生徒に情報が伝わるようにしています。また、保護者におかれましてもホームページ、連絡メール、各種便りでお知らせをしているところではありますが、効果的な伝え方については再度、検討をしていきます。
- 学校の校則（ルール）について御意見をいただきました。現在の状況に合わせて、多種多様な生徒が充実した集団生活を送ることができるように、毎年検討し改善していきます。
- 冬場のエアコンの利用について御意見をいただきました。学校内でルールを定めていますので、原則それに従って利用をしていきますが、お子様の健康を第一に考え、運用します。
- 清掃・歌声・挨拶の充実について多くの御意見をいただきました。六中の伝統として受け継がれてきた3本柱で、普段の生活や行事を通じて、生徒（生徒会）と共に活性化できるよう検討していきます。
- 授業の時間について45分授業にしてほしいとの御意見がありました。教育課程を踏まえ、検討していきます。

【服装について】

- 大雨の対応については、基準を検討し、柔軟に対応ができるように検討していきます。
- 冬場の服装の扱いについては、昨年に引き続き御意見をいただき、改善を図っています。登下校のウィンドブレーカーの着用（現在、許可）やカーディガン等の着用ルールなど学校で共通してルールを決めていますが、再度職員間でルールの確認を図り、お子様や保護者の皆様が混乱しないよう対応をしていきます。
また、生徒の健康面を第一に考えながらも、マナーやUD（ユニバーサルデザイン）など様々な面を考慮しながら、冬場の服装の扱いについては引き続き可能な対応について検討していきます。
- 制服等については、令和9年度から制服の変更を計画しています。それに伴い、特に夏場の登下校の服装や学校生活での服装、大雨の対応も踏まえ、御意見をいただいたことを参考に、再検討を図っています。

4 職員の言動等について

- 職員の生徒への対応（言動含む）について御意見をいただきました。職員研修や個別面談等を通じて、職員全員が真摯に受け止め、職員の人権にかかわる意識や危機管理に対する意識を高め、現在の社会情勢も見据えながら、生徒の気持ちに寄り添った対応をすることができるよう、学校全体で改善していきます。

- 欠席した生徒への対応について御意見をいただきました。大事な連絡については

電話で大事な連絡内容が伝わるように再確認します。その際、保護者の方の御協力も併せてお願いします。

5 部活動について

- 顧問の生徒への対応（言動含む）についての御意見をいただきました。職員全員が真摯に受け止め、部活動ガイドラインを遵守し、生徒の気持ちに寄り添った対応をすることができるよう、職員研修等を行いながら学校全体で改善していきます。
- 部活動顧問及び指導員について御意見をいただきました。職員の配置状況、職員の状況（働き方改革など）、外部コーチへの委嘱、地域移行を視野に入れ、検討していきます。
- 文化部の活動について御意見をいただきました。学校だより等で御紹介しておりますが、より分かりやすくお伝えできるように検討していきます。
- 部活動の種類を増やす件について御意見をいただきました。指導員の不足や部活動の活動場所の観点から現在の段階では増やすことは難しい状況です。ご了承ください。

6 ホームページ、各種便り、連絡メールについての要望

- 学校便りや学年便りのホームページ掲載について御意見をいただきました。毎月掲載するものについては、前月の終わり（学校だより、給食便り等）及び月初め（学年だより、保険だより等）に掲載していきます。再度、情報の発信の仕方や内容について見直しを図っていきます。

7 タブレットについて

- タブレットにつきましては、御不便をおかけしております。故障のタブレットについては代替機の利用などで速やかに対応していきます。また、本年度中に性能の高いタブレットに全生徒分、切り替える予定です。
- タブレットの適切な利用について御意見をいただきました。タブレットの利用は、連絡手段、家庭学習のアプリケーションの利用、調べ学習、レポートのまとめ等の観点で有用なICT機器である一方で、悪用できるデメリットもあります。学校ではメリット、デメリットなど伝え、適切な利用の仕方を指導しているところです。（警察などの外部機関も活用する場合があります。）
タブレットの適切な利用を指導している点を御理解いただくと共に、御家庭での指導も併せて行うよう御協力をお願いします。

8 その他

- 貴重なご意見ありがとうございました。近年、急速な社会情勢の変化に伴い、未来を切り拓く力を育む必要性が求められ、特にSNSの利用の仕方、性教育、金融関係（2年生の家庭科で実施）などについて学ぶ必要性が増しております。授業や外部講師をお呼びしての講話など、本校におきましても実施しているところではありますが、来年度に向けて、実態に応じた工夫や改善を検討しています。

- 学校施設については、老朽化が進んでおり、教職員全員で安全点検を実施し、優先度を付けて修繕を行っているところです。また、教育委員会とも連携して安全性の確保に努めています。
- 教育相談、いじめ相談、進路相談など生徒の悩みについてじっくり相談できる雰囲気づくりができるよう工夫していくと共に、保護者とじっくり話す機会を併せて検討していきます。
- 学校経営方針等、ホームページに掲載しているところではありますが、生徒、保護者が共通認識しやすくなるような工夫について検討していきます。
- 進路指導について御意見をいただきました。進路指導については「中学校生活と進路」の副読本を利用しながら、特別活動の一環として学年に応じた進路指導を実施しています。また、進路学習会の資料や進路だよりはホームページに掲載するなど1，2年生から情報が得られるようにしています。さらに、進路学習会（年2回）についても3年生だけでなく、1，2年生の保護者も参加できるように御案内しています。
- 本校におきましては、引き続き将来に夢や希望をもって自立できる、活力ある生徒の育成を目指していきます。生徒一人一人のよさを認め、活動の場を提供すると共に、良好な人間関係を構築し、充実した中学校生活三年間が過ごせる様、担任のみならず、全職員で幅広く生徒の指導、支援をしていきます。引き続き、御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

9 学校や職員への期待・励まし

- 今年度も本校の教育活動に好意的な評価を多数いただき、職員一同感謝しております。また、お子様の成長した様子もうかがえ、本校で改善してきたことが効果を為したことも職員の励みになりました。御指摘いただいた内容につきましては、貴重な御意見として受けとめ、教育活動の改善に生かしていきます。

- 担任や部活動の顧問に対する温かいお言葉もいただきました。ありがとうございました。